



Richard Porter / BirdLife

ソコトラ島では外来種のイエガラスの駆除に成功しました。

バードライフ・ニュースバイト #13

2009年7月6日

ソコトラ島からイエガラスを駆除

ソコトラ島（注： イエメンに属するインド洋上の島で、独特の生態系を持ち世界遺産に指定されている）から外来種のイエガラスを駆逐することに成功しました。「ソコトラからのイエガラスの駆除は固有の動植物に生じる危険を除去したことになります。」と GEF（世界環境基金）の管理と生物多様性主流プロジェクトのイエメンのコーディネーターナディム・タレブは言いました。このニュースは環境保護局（EPA）、ソコトラ群島保護・開発計画（SCDP）の10年に及ぶ作業の結果です。イエガラスは1996年にソコトラ島に現れ、10ペア以上が繁殖個体群を作り上げて原産の生物多様性に脅威を与えていました。イエガラスを捕まえるためのいろいろな方法が試されましたが失敗に終わり、最後に独創的な方法によりその数をコントロールすることが出来ました。ソコトラ群島保護・開発計画の事務所にイエガラスのヒナが居る巣を持ってきた子供たちに賞金が出されたのです。最後の数羽は狙撃手により撃ち殺された。「外来種抑制グループはソコトラを外来種のイエガラスから開放したのです。」と GEF の小額助成金プログラムのコーディネーター、オマル・アル・サギアーは言いました。「私たちは私たちは彼らが地元コミュニティーと一緒に今度は外来植物の根絶に成功するのを望んでいます。」この作業は外来種抑制グループ、EPA、SADP が GEF の小額助成金プログラムの基金により行われました。

絶滅危惧 I A 類のミソサザイの初めての保護

コロンビアの東アンデスのチカモチャ溪谷でプロアヴェスは世界土地トラスト(米)、アメリカ野鳥コンサーバンシー、サンタンデール地方自治公社と共に保護リーダーシップ計画チカモチャプロジェクトの一部として1300ヘクタールの乾燥森林環境を購入しました。こ

の土地にはこの地域全体でも最高品質の乾燥森林が含まれており、絶滅危惧 I A 類のオリーブヤシを保護するための新しい保護区の建設につながるでしょう。この計画の詳細はバードライフ本部のホームページの該当記事をご参照ください。

夏鳥の急激な減少

RSPB(王立鳥類保護協会-英国のパートナー)が先ごろイギリスではアマツバメの数がこの10年で47%も減少したと発表しました。この減少の主な原因はビルの改良や解体による営巣場所の喪失によるものと考えられています。これに対応してRSPBはアマツバメがまだ見られる場所と営巣できる場所を特定するための調査を英国全土で始めました。「このように急激にアマツバメが居なくなったことに私たちは大変懸念をしており、それ故、私たちはアマツバメが現在どこに居るのかを探してくれるように人々に助けを求め、その結果、私たちの努力を正しい方向に集中できるようにしたいのです。」とRSPBの種再生オフィサーのサラ・ニーマンは言いました。

AFT 報告が刊行されました

今年の初めにチリのコキンボで開催された第1回のアホウドリ・タスクフォース(ATF)指導者研究会の結果の詳細報告が発行されました。「この報告書はアホウドリ・タスクフォースのための重要な会議の概要を記した優れたもので、私たちの保護計画の次の局面を示しています。」とバードライフのATFコーディネーターのオリ・ヤテスは言いました。報告書は既存の6つのAFTチーム全てがどのようにして海鳥の混獲を今後減らすための方法を向上し開発する実験的調査を実施することに同意したかの詳細を記しています。「この調査の結果は延縄およびトロール漁法で利用できる一連の海鳥保護の技術の改善につながるでしょう。」とオリは付言しました。(報告書は本部のホームページからダウンロードできます)

アフリカで足環装着者を結びつけるプラン

アフリカ-ユーラシア渡り性水鳥条約(AEWA)および動物個体数統計学ユニット(ADU)が先ごろアフリカ野鳥足環装着スキームのウェブサイト(AFRING)を立ち上げました。このサイトの主目的はアフリカの野鳥への足環装着イニシアティブと関係しているアフリカおよび世界の足環装着者に情報を提供し、足輪のデータにアクセスし回収された足環や再観察されたカラー足環の報告をオンラインで提供することです。これは地域での協力態勢を確立し、野鳥と生息地の保護に関する科学的データの利用を促進することに貢献するでしょう。このサイトは継続的に更新されます。AFRINGについての詳細はwww.afring.orgにアクセスしてください。